

初代 ^{とよたけ} 豊竹 ^{さき たゆう} 咲太夫 芸歴 人形浄瑠璃文楽座・太夫

[芸歴]

- 昭和28年 8月 豊竹山城少掾に入門 竹本綱子太夫と名のる
昭和28年10月 四ツ橋文楽座において初舞台。演目「伽羅先代萩・御殿」の鶴喜代君政岡は、師 山城少掾
昭和41年 9月 道頓堀朝日座において初代豊竹咲太夫と改名「鬼一法眼三略巻 菊畑の段」の虎蔵で披露
平成21年 4月 切場（きりば）語りになる（重要な場を語る太夫に与えられる最高の資格）
令和 1年10月 重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される
令和 3年10月 文化功労者

[受賞歴]

- 昭和42年 3月 国立劇場奨励賞
昭和47年 5月 国立劇場奨励賞
昭和49年 1月 昭和48年度文楽協会賞
昭和49年 4月 国立劇場奨励賞
昭和56年 2月 国立劇場優秀賞
昭和58年 1月 第2回(昭和57年度)国立劇場文楽賞文楽奨励賞
昭和59年 芸術祭奨励賞ラジオ部門
昭和59年 2月 第一回咲くやこの花賞
昭和62年 1月 大阪文化祭賞奨励賞
平成 2年 1月 第9回(平成元年)国立劇場文楽賞文楽優秀賞
平成11年 1月 大阪文化祭賞
平成11年 1月 第18回(平成10年)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成11年 3月 芸術選奨文部大臣賞
平成15年 1月 第23回(平成15年)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成16年 3月 平成15年度大阪舞台芸術賞
平成16年11月 紫綬褒章
平成19年 3月 第28回松尾芸能賞優秀賞
平成19年 4月 第26回(平成18年度)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成21年 6月 平成20年度(第65回)日本芸術院賞
平成23年 4月 第30回(平成22年)国立劇場文楽賞文楽大賞
平成23年10月 第41回エクソンモービル音楽賞
平成24年 1月 第53回毎日芸術賞
平成26年11月 第49回大阪市市民表彰
平成31年 1月 十三夜会年間大賞（2018年）
令和 2年3月 第39回（令和元年度）国立劇場文楽賞文楽特別賞

[著書]

- 「咲大夫まかりとおる」（長征社）
「近松門左衛門名作文楽考1 女殺油地獄」（尾寄彰廣 共著 講談社）
「近松門左衛門名作文楽考2 心中天網島」（尾寄彰廣 共著 講談社）

[作曲・作品]

近松門左衛門 作 「隅田川」
近松門左衛門 作 「今宮心中」
三島由紀夫 「鯛売恋曳網」
井原西鶴 「暦」
「高尾ざんげ」

[文楽公演以外の活動]

「義太夫・三味線コンサート」
「桂枝雀」、「永六輔」とのジョイント
NY・アリスタリーホールにて「オイディプス」（池辺晋一郎作曲）に出演
ラジオ大阪「咲太夫はんなりサロン」
産経新聞「咲太夫はんなりトーク」連載
東京新聞「コラム風流」連載
読売新聞「咲太夫でんでんばなし」連載
坂東玉三郎氏と二人会
野村四郎氏（能楽師）と二人会
和歌山大学講師
追手門学院大学客員教授 等